

### 3 評価委員の意見に対する対応

これまでの事務点検・評価において、評価委員よりいただいた意見に対する対応状況を下記のとおり区分して示します。なお、前年度の事務点検・評価報告書で区分「○」と示したものについては記載を省略します。

区分	説明
○	意見に対する取組を実施しているもの。
△	意見に対する取組みについて検討しているもの。
×	未対応のもの。

#### (1) 学校教育分野

##### ア 令和2年度事務点検・評価（対象期間：令和元年度）

施策	評価委員の意見（抜粋）	対応状況	区分
2-1 豊かな心の育成	「読書習慣のある児童生徒の割合」は数年での低下が見られる。現在の児童生徒の読書実態の把握や学習での本や資料の活用等、方策を検討していくことが必要であろう。	昨年度に引き続き、読書量調査を実施し、児童生徒の読書実態の把握を行います。また、児童生徒の読書習慣の形成に向け、学校図書館指導員やボランティアによる読み聞かせ等を行います。さらに、学校図書館指導員の研修テーマを「授業への支援」とし、計画的に学習での本や資料の提示等を行い、積極的に児童へ学習の支援をすることで、学校図書館の充実を推進していきます。 (教育指導課)	○
2-2 社会的自立に向けた強い心の育成	(キャリア教育について) 今後の課題としては、研究推進を行ってきた学校の事例等を活かせるよう、学校内外において継続可能な支援や、情報を共有するための仕組みづくりがさらに必要になるだろう。また校内外でのキャリア教育の実践の中心となる教員の育成や支援、また個々の教員へのキャリア教育についての理解を推進するための方策の検討が重要である。	研究指定校における実践の成果について、キャリア教育主任研修会やキャリア教育推進連携会議で周知しました。キャリア教育を推進する教員を育成するために、市外、県外への研修に派遣しています。 (教育改革推進課)	○

施策		評価委員の意見（抜粋）	対応状況	区分
3-2	体力の向上	（民間スイミングスクールを活用した水泳学習について）課題としては、交通事情などで想定以上の移動時間がかかった際の学校内やスイミングスクールとの調整が必要になることが挙げられる。また双方での打ち合わせは、現地での対面、電話等で行っているが、評価と指導の一体化をより図るためにも引継ぎも含めて継続可能な形のあり方を学校の状況に合わせて探ることがさらに重要であると言える。	民間スイミングスクールを活用した水泳学習については、事前打ち合わせを入念に行い、学校とスイミングスクールが連絡を密にとって調整等を行っています。また、指導・評価については、市共通の進級カードを作成し、学校の実態に合わせて加筆修正を行い、スイミングスクールに提供し、評価等に活用しています。  （保健体育課）	○

## （２）生涯学習分野

### ア 令和２年度事務点検・評価（対象期間：令和元年度）

施策		評価委員の意見（抜粋）	対応状況	区分
1-2	学習環境の整備	（千葉市図書館ビジョン 2040 について）このコンセプトを実効性あるものとするためには、千葉市図書館情報ネットワーク協議会などを通じて多様な協働・連携事業が検討され、また中央図書館と生涯学習センターが合築である利点をいかした体系的な事業の企画・実施など、教育的な相乗効果や創発効果を意図したプラットフォームの形成・充実が必要であろう。	千葉市図書館情報ネットワーク協議会加盟館による情報提供能力を強固にし、図書館サービスの向上を図るとともに、学術研究及び生涯学習の発展に寄与するため、加盟館紹介展を実施しました。また、中央図書館と生涯学習センターとの連携による「七夕平和プロジェクト」への参加など、共に生涯学習施設である強みを活かした取組を進めています。  （中央図書館管理課）	○
2-1	郷土への愛着を深める学習機会の提供	（加曽利貝塚博物館の管理運営について）ホームページは、国内のみならず、海外も含めて場所を問わず、さまざまな人々の目に触れるために非常に効果的な宣伝媒体であり、さらなる情報発信に努められることを期待する。また、加曽利貝塚博物館に来る前の事前学習や加曽利貝塚博物館の学術的意義をコンパクトに紹介する動画などの教材制作についてもなお一層の推進が望まれるところである。	館長日記や学芸員日記などを活用し、より博物館の魅力が伝わるよう、ホームページでの情報発信に努めています。また、学校と博物館等との連携強化の一環として、校外学習の事前学習や振り返りの学習等での活用を目的に映像コンテンツ「千葉市の不思議を学び隊！」を制作し、YouTubeで公開しました。  （文化財課）	○

施策		評価委員の意見（抜粋）	対応状況	区分
2-2	市民ニーズに対応した学習機会の提供	<p>（放課後子ども教室・子どもルーム一体型モデル事業について）地域格差や保護者の不平等感を払拭するためには、できるだけ速やかに事業を拡大することが望まれる。事業者選定にあたっては、地域のニーズに応え、子どもが居場所として安心して楽しく過ごせる内容を提供できるよう、教育的な資質・能力を持つ人材を有する点などを考慮に入れることが肝要になろう。（中略）放課後の時間にあっても、振り返ったときに、懐かしく楽しい良い思い出となる時間でありうるよう内容の充実について鋭意検討していただきたい。</p>	<p>利用者に対するアンケート等による評価を行うとともに、事業者や関係部門と意見交換を行うなど、今後の事業のあり方について検討していきます。</p> <p>（生涯学習振興課）</p>	△